

2026 年度 ナショナルチーム強化計画（案）

公益財団法人 全日本空手道連盟 選手強化委員会

※2025 年 12 月 12 日開催の理事会にて本資料の内容を確定する。

— 目 次 —

・全日本空手道連盟基本理念	P 1
・ナショナルチーム基本方針	P 2
・ナショナルチーム強化方針	P 3
・選手強化委員の構成と任務	P 4
・選手強化委員組織図	P 5
・2026 年ナショナルチーム選手選考（国内・国外）	P 6
・2026 年強化選手選考に係る免除選手の取り扱い	P 7
・第4回全日本空手道体重別選手権大会（兼2026年ナショナルチーム選考会）概要	P 8
・第4回全日本空手道団体形選手権大会（兼2026年ナショナルチーム選考会）概要	P 9
・（仮）全日本ジュニア・カデット空手道選手権大会（検討中）	P 10
・2026 年選手強化合宿の取り扱い	P 11
・2026 年ナショナルチーム各種研修会開催予定について	P 12
別添資料① 2026 年ナショナルチーム編成数	P 13

公益財団法人全日本空手道連盟基本理念

1. 空手道を通して、感動、喜び、成長を体験する
2. 空手道の健全な発展と普及を追求し、生涯空手を目指す
3. もって、国民の心身の錬成に寄与する

ナショナルチーム基本方針

1. 指導者心得

- (1) 強固な日本チームを育成するため選手との一体感（連帯意識）を高める
- (2) 一貫した指導体制を構築するためのコーチ会議および講習会等への参加を積極的に行い自身のスキルアップを目指す
- (3) 常に公平・公正であることを第一義とし、信頼される組織を構築する姿勢を貫く
- (4) 情報戦略を強化し、世界先端のレベルを維持する強化体制を目指す
- (5) 医科学支援体制の充実を図り、選手がベストコンディションで活動できる環境を目指す
- (6) 「必ず結果を出す」との強い信念を持ち、選手と共に成長する指導体制を推進する

2. トップアスリート心得

- (1) 礼節（言葉遣い・態度・挨拶）を重んじること
- (2) 道徳心（倫理・正義）を重んじること
- (3) 高い志を持ち続け成長すること
- (4) 志を達成するため情熱ある行動に努めること
- (5) 必ずできると信じて最後まで諦めない精神力を培うこと
- (6) 前向きな姿勢（プラス思考）がチーム全体の力となるように努めること
- (7) 人を思いやる優しさ、素直さを持つように努めること
- (8) 創意工夫の大切さを理解し、思考力・人間力を高めること

ナショナルチーム強化方針

日本代表選手は「強い空手」を目指す

「強い空手」を実現するために、豊富な練習とフィジカル強化の徹底を図り自信を身に付ける。

ナショナルチームは世界に通用するシニア選手の強化を第一とし、続いてU21、ジュニア、カデットの強化活動を計画的に実行する。

<組手>

- (1) 必ず勝つという強い信念の下、得意とする技を自信を持って戦う姿勢を貫く。
- (2) 先の先の組手を心掛け、先取することを基本として積極的な試合展開をする。
- (3) 直線的攻撃力を最大限に強化し、かつ柔軟な対応力を磨く。
- (4) 日本人特有の正確な技、我慢強さを最大の武器として戦う。
- (5) 空手母国日本代表選手として誇りを持ち最後の最後まで「正々堂々」と戦う。

<形>

- (1) 伝統的な無駄のない動きが日本の強さであり、技術とフィジカルの融合を行う。
- (2) 強靱な下半身と体幹を作り上げ、上肢との一致を行う。
- (3) 日本代表としての自覚と覚悟を持ち、メンタルをコントロールし、どんな状況でも自分を出せる一貫性を身に着ける。
- (4) 空手の歴史、文化を学び、形（技）の意味を理解した演武を行う。
- (5) 上記（１）～（５）を強化し、全種目優勝を達成し世界の模範となる。

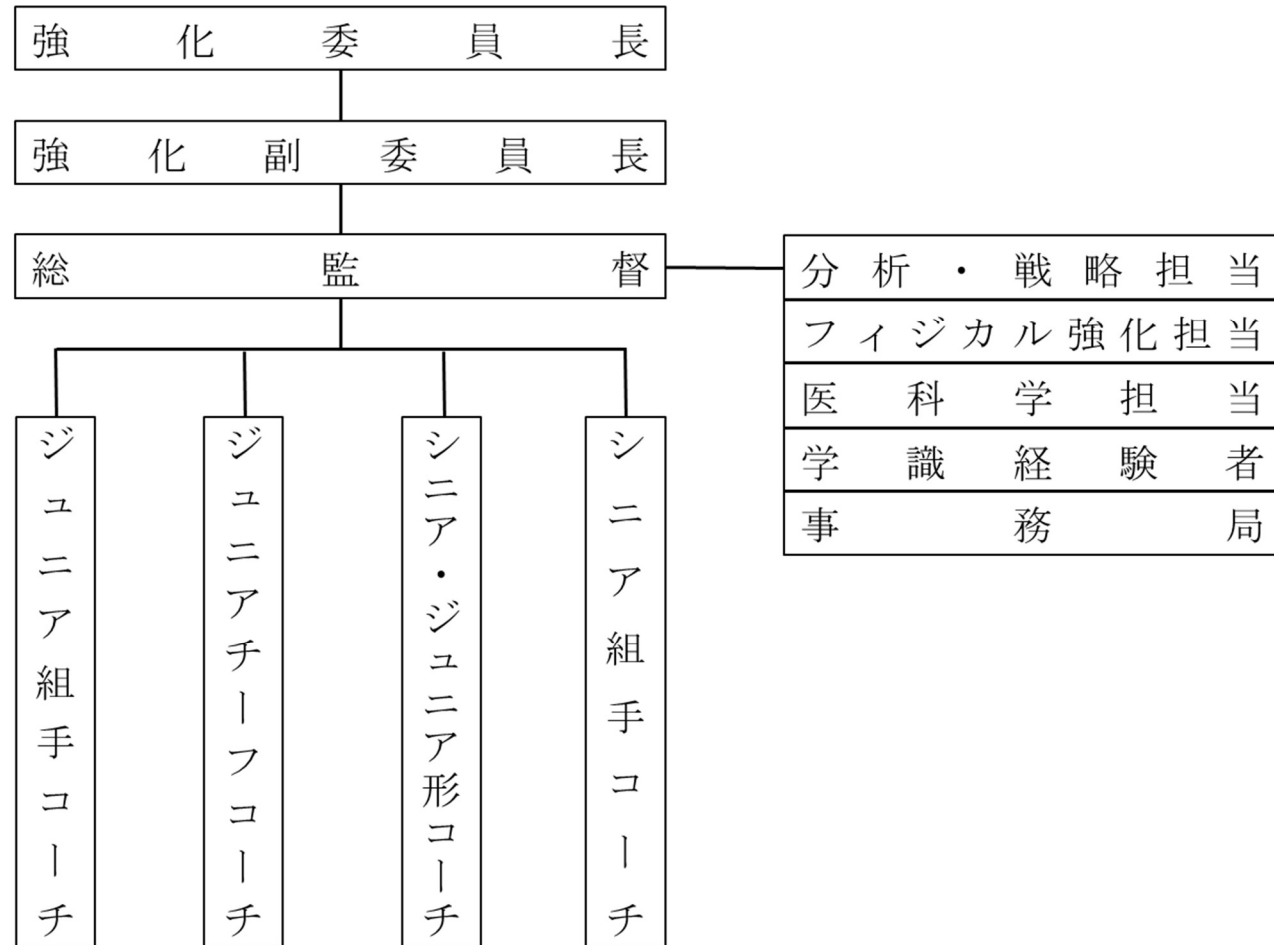
選手強化委員会の構成と任務（24 名）

※2027 年 6 月開催の理事会まで

強 化 委 員 長	谷崎金光	男性 15 名 女性 9 名
強 化 副 委 員 長	佐藤映里（シニア組手兼務）	
総 監 督	古川哲也	
フ ィ ジ カ ル 強 化 担 当	松久功、医科学スタッフ	
分 析 ・ 戦 略 担 当	亀山歩、大徳紘也、細矢真人、大木格	
シ ニ ア 組 手 コ ー チ	崎山幸一、稲田保久、亀山歩、松久功、玉井祐美、新井彩可	
ジュニアチーフコーチ	細矢真人	
ジュニア組手コーチ	志水亮介、永木伸児、荒賀知子	
シニア・ジュニア形コーチ	大木格、土屋秀人、雨宮さゆり、清水由佳（ジュニア）	
医 科 学 担 当	鈴木浩司、安東映美、工藤裕仁、古川茜、大徳紘也	
学 識 経 験 者	村田利衛	
事 務 局	小池康子（事務長）、新井彩可（シニア事務次長）、清水由佳（ジュニア事務次長） 大徳紘也（シニア、ジュニア事務次長）	

※スポットコーチ制度の導入について（別紙資料参照）

選手強化委員会組織図



2026 年ナショナルチーム選手選考（国内・海外）

カテゴリー	選考大会・方法	会場	期日	選考人数 (免除選手含む)	選考委員
シニア個人組手	第 4 回全日本体重別空手道選手権大会 兼ナショナルチーム選考会 (U21 含む)	日本空手道会館	2026. 2. 21～22	シニア階級で 70 名以内 (U21 含む)	選手強化委員から 7 名以内を選出
シニア個人形	選考会なし (P 7 シニア形参照)				
シニア団体形	第 4 回全日本空手道団体形選手権大会	日本空手道会館	2025. 12. 13～14		
ジュニア・ カデット・(U21) 個人組手	(仮) 全日本ジュニア・カデット空手道選手権大会兼アジア・世界大会代表選手選考大会 (WKF ルール)	日本空手道会館	2026. 7 (未定)	ジュニア・カデット 階級で 23 名以内	
ジュニア・ カデット・(U21) 個人形	ジュニアチーム形選手選考会	日本空手道会館	2026. 7 (未定)		
シニア 組手・形	2026 年アジア競技大会 代表選手選考	①2025 ワールドゲームズ ②2025WKF 世界大会 ③2026 トルコ PL ④2026 ローマ PL 上記 4 大会の合計点数の最上位者 ※ワールドゲームズを他の WKF 大会同様に点数化 (係数は世界大会と同じ 12) ※階級選考もこの点数を使用する			
	2026 年アジアシニア選手権 大会代表選考	2026 ローマ PL 終了時点の、2027 世界大会スタンディング最上位者			
	2026 年第 2 回ワールドカップ 代表選手選考	—	—	—	選手強化委員会
	プレミアリーグ大会 (略称 PL)	—	—	—	
	シリーズ A 大会 (略称 SA)	—	—	—	

- ・組手及び形の選手選考は、「強化方針（P3 参照）」に沿って選出する。
- ・強化選手選考は選考会后、選考委員による選考会議で決定する（発表は後日とする）。
- ・2027 世界選手権大会個人戦予選トーナメント出場選手選考については、2027 プレミアリーグスタンディング最上位者とする。

2026 年強化選手選考に係る選考会免除選手の取り扱い

区分	免除対象者
シニア組手	①2024 年第 1 回ワールドカップメダリストで強化委員会からの推薦を受けたもの ②2025 年世界大会出場者 ③2025 年全日本選手権大会個人組手優勝者 ④2025 年プレミアリーグスタンディング 32 位以内の中から各階級上位 2 名（繰り上げあり）
シニア形	①2024 年第 1 回ワールドカップメダリストで強化委員会からの推薦を受けたもの ただし、団体形は同一メンバーに限る。 ②2025 年世界大会出場者 ③2025 年全日本選手権大会個人形優勝者 ④2025 年プレミアリーグスタンディング 32 位以内、且つ、2025 プレミアリーグメダリストの中から上位 4 名（繰り上げあり）
ジュニア カデット U21	な し

第4回全日本空手道体重別選手権大会（兼2026年ナショナルチーム選考会）概要

期 日	2026年2月21日（土）～22日（日） *予選トーナメント：2月21日（土） *決勝トーナメント：2月22日（日）	
会 場	日本空手道会館	
出場要件	以下1～3の項目をすべて満たしていること 1、本連盟会員であること 2、令和7年度内に満16歳以上であること 3、全空連公認段位を取得していること	
人数制限	1階級45名まで	
申込手順	フェーズ1	2025年ナショナルチーム所属組手選手（シニア、U21、ジュニア）
	フェーズ2	①以下団体から推薦された者（男女各階級2名まで） 各地区協議会、実業団、学生連盟、高体連 ②各会派団体より推薦された者（男女各階級1名まで）
	フェーズ3	フェーズ1，フェーズ2で45名に満たなかった場合、フリーエントリー枠を設ける。
選考人数	優勝者並びに強化委員会が推薦する選手若干名（内定者）	

第4回全日本空手道団体形選手権大会（兼2026年ナショナルチーム選考会）概要

期 日	2025年12月13日（土）～14日（日） ＊予選：12月13日（土） ＊決勝：12月14日（日）
会 場	（13日）東京武道館、（14日）日本武道館
出場要件	以下1～3の項目をすべて満たしていること 1、本連盟会員であること 2、令和7年度内に満16歳以上であること 3、全空連公認段位を取得していること
人数制限	最大40チーム程度
出場資格	①前年度優勝および準優勝チーム ②各地区協議会代表：2チーム（合計18チーム） ③高体連代表：8チーム ④学生連盟代表：8チーム、 ⑤実業団代表：2チーム、 ⑥全空連推薦：数チーム ⑦フリーエントリー（過去の実績を基に出場チームを決定する場合がある。） <u>※各チーム（選手は控えを含む4名の登録が可能）、監督1名</u>
選考人数	① 優勝チーム（決勝戦に出場した3名）をナショナルチーム内定者とする。 ② 出場チームの中から強化委員会が推薦する1チームを追加（内定者）する場合がある。 <u>※選考したチームの内、1名の選手が選手交代する場合は、2026年第1回シニア合宿で選考を行う。</u>

(仮) 全日本ジュニア・カデット空手道選手権大会
兼アジア・世界大会代表選手選考大会 (WKF ルール)

現在検討中

2026 年選手強化合宿の取り扱い

区 分	会 場	期 間	練習テーマと強化策
シニア (U21 含む)	全空連会館	4 月 1 日～ 3 日 6 月 26 日～28 日 7 月 23 日～26 日（うち 3 日間） 11 月 2 日～ 6 日（うち 3 日間） ※10/13～31 カテゴリー別合宿	(1) 技の正確さ (2) 先取するための積極性 (3) 技の連続性 (4) フィジカル強化 PDCA 検証 ※次回の強化合宿参加選手の選定を実施
形合宿	全空連会館	2 月 8 日～10 日 ※10/13～31 カテゴリー別合宿	(1) 立ち方 (2) 緩急 (3) フィジカル強化
ジュニア (カデット含む)	全空連会館 全空連会館	9 月 4 日～ 6 日 10 月 9 日～10 日	※ジュニア強化はシニアと同様の強化を図り、一貫した指導体制を構築する。

- ・上記日程の他に、組手（男・女）は必要に応じて東日本及び西日本地区各拠点で合宿を行う。
- ・練習テーマと強化策を基に、次回以降の合宿参加への人数を絞る。
- ・メダル獲得有力候補選手を選抜し、海外遠征合宿を行う。
- ・体力測定を実施し、基礎体力の成果検証を行う。
- ・地域における国民スポーツ大会へ向けての競技力向上のため、必要に応じて合同練習会等を実施する。

※強化合宿を通じてチームの結束・連帯を強化する

2026 年ナショナルチーム各種研修会開催予定について

選手・強化委員対象研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）
 - ・空手アナリストによる競技力向上研修会（合宿開催時）
 - ・インテグリティ研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
 - ・アンチ・ドーピング研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
- ※地域競技力の向上は、ナショナルチーム競技力向上の土台となる観点から、ナショナルチーム選手の所属団体からの国民スポーツ大会並びに全日本選手権大会の参加を推奨する。

強化委員対象研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）
- ・空手アナリストによる競技力向上研修会（合宿開催時）
- ・インテグリティ研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
- ・アンチ・ドーピング研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）

※上記ほか、必要となった際に随時各種研修会を開催予定。

別添資料①

2026 年ナショナルチーム編成数

カテゴリー	人 数
シニア・U21	70 名以内
ジュニア・カデット	23 名以内

※ジュニア男子団体形、ジュニア女子団体形メンバーは高体連に選考をしていただきます。

※ジュニア男子団体形、ジュニア女子団体形メンバーはナショナルチーム選手ではありませんが、日本代表として国際大会に派遣を行います。